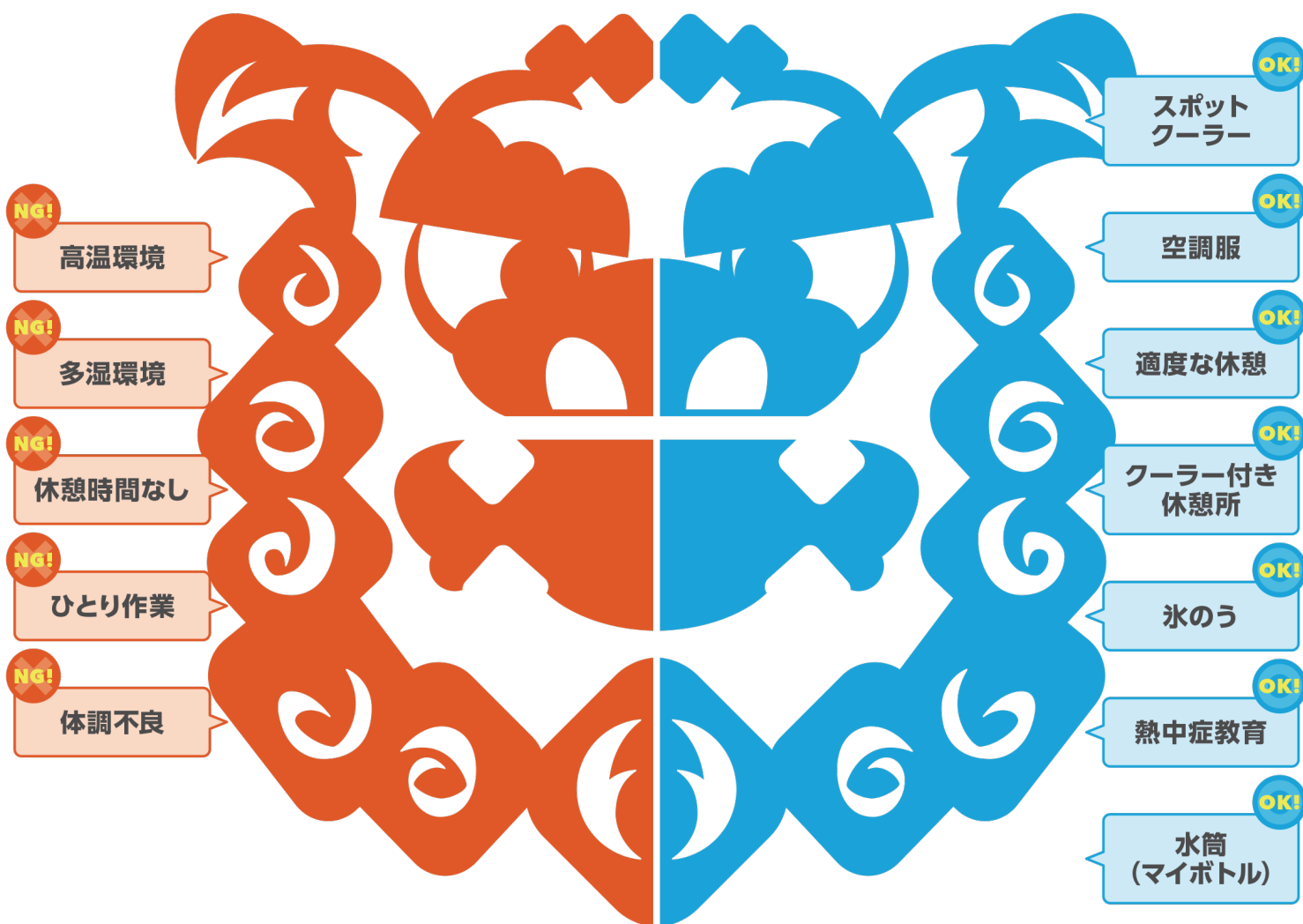


STOP! 熱中症

／ あんまり暑いと仕事にならんさー! ／



わが社の熱中症対策

拓伸会 (拓南グループ)

わが社（拓伸会（拓南グループ））の熱中症対策

拓伸会（拓南グループ）について

太平洋戦争の末期、沖縄地上戦いわゆる「鉄の暴風」は、多くの人命を奪うとともに首里城をはじめとして県内ほとんどの建物をことごとく吹き飛ばしました。

悲惨な戦争のあとに県民が住みはじめた建物は、米軍支給のテント家屋や木造の戦後復興住宅だったため、台風の来襲のたびに家屋倒壊等の甚大な被害が発生していました。

そのとき、拓伸会（拓南グループ）の創業者 古波津清昇 は、「安心して生活できる建物を開発しなければ、沖縄の繁栄はない」と考え、戦争で沖縄に残った鉄スクラップを活用し、台風でも安心な鉄筋コンクリート住宅に着目しました。そして使用する鉄筋を県内で製造するという発想のもと、沖縄の鉄鋼業開発を決意しました。

現在、拓伸会は創業者の意思を引き継いで、鉄筋の製造、鉄資源回収、土木建設用の資材の製造、販売、ゴルフフレンジ等を営み、次の時代創りに邁進しています。

拓伸会（拓南グループ）の熱中症対策について

昨年は、沖縄産業保健総合支援センター様に、拓南製鐵、拓南商事及び拓南製作所の熱中症対策を紹介していただきました。今年は昨年までの主要対策に加えて、鹿児島市にあるグループ会社「株式薩南物産」の熱中症対策、そして現在グループ全体で実証実験をしている熱中症対策ウオッチについてご紹介します。

1. 作業環境管理面からの熱中症対策

- （１）工場内に気流を作るために建屋の奥に向けて、大型扇風機で空気を循環させています。（拓南製鐵）



- （２）スポットクーラーは、作業する社員に向けて配置しています。（拓南製鐵）



- （３）製品品質に影響の無い箇所では、ミスト噴霧扇風機を使用して気温調整をしています。（拓南製作所）



- (4) ツールボックスに簡易熱中症計を掛け、工場内の暑さ指数は、誰でもすぐ分かるようにしています。
(薩南物産)

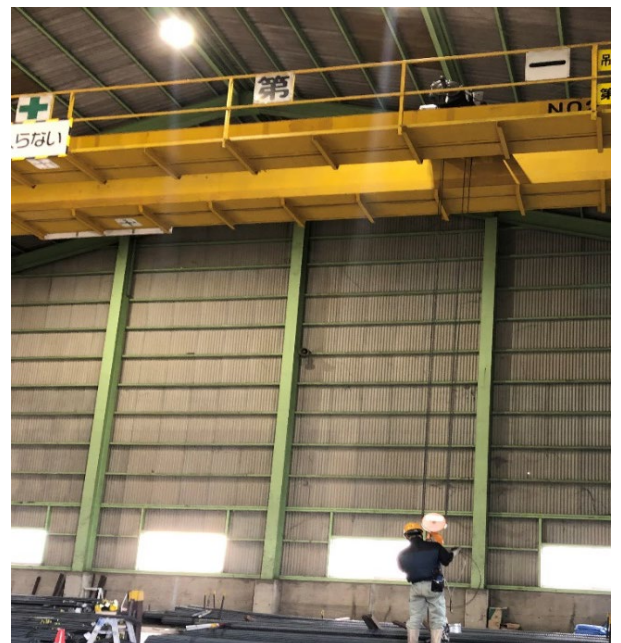


2. 作業管理面からの熱中症対策

- (1) 従来使用していた保護帽の発砲スチロールの代替として、ブロックライナーを使用し、頭部の暑さ、ムレを改善した安全帽の実証実験を実施しました。(拓南商事)



- (2) クレーン操作者も空調服を着用して作業しています。
(薩南物産)



3. 健康管理面からの熱中症対策

(1) 男性トイレに、自身の尿の色を確認することにより、脱水状態を確認できるチェック表を掲示しました。

(拓南商事)



(2) 休憩場所は、冷えた水分と塩分等ミネラルの補給ができるよう準備しています。

(拓南製鐵)



4. 安全衛生教育の面からの熱中症対策

総括安全衛生管理者は、WBGT（暑さ指数計）を携帯し、事業所内巡視時に各地点を計測して、社員に教示し熱中症予防に努めています。

(拓南製作所)



5. 新しい熱中症対策（個人ごとのデバイス）

作業環境管理、作業管理、健康管理及び安全衛生教育に加えて、今年度の拓伸会の新たな熱中症対策としては、6月から熱中症対策ウオッチを拓伸会（拓南グループ）全社 32 人で実証実験を進めています。

この装置は、社員が暑い環境の中で一大事になる前に、アラームと LED 表示で知らせるものです。熱中症の警報を個人ごとに伝えます。

実験の途中ですが、熱中症対策ウオッチの好事例を一つ紹介します。

4 年前に熱中症になった経験のある社員が装着していたところ、梅雨明けの 7 月 3 日の 15 時過ぎ頃、工場内での作業中に赤ランプのアラームの点滅に気づきました。直ちにクーラーのある休憩室で冷たい飲料水を飲むなど休憩を取ると、15 分ぐらいで正常の緑ランプ点滅になりました。その後作業に復帰しましたが、体調に異常はありませんでした。

